

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第六十話

「館脇先生の新冠植物調査（語り）」 （要約文）

館脇操先生は、北海道帝国大学（後の北海道大学）の林学博士で、植物学の権威です。その館脇先生が新冠に来られたのは、昭和18年6月のことです。目的は、新冠御料牧場の放牧計画を立てるために、場内の植生状況を見ていただくことでした。御料牧場では、宮内省が使う馬を生産しなければなりません。偉い人が来たときは馬車で移動するため、優秀な馬が必要になります。春夏秋冬で、牧場内のどの地区に馬を放せば優秀な馬を育てることができるのか計画を立てたかった。そのために先生を呼んだということなのです。

私は御料牧場で林務課に所属しており、当時は30歳になったばかりで若かったのですが、先生に随行して場内を案内することになりました。先生は約2カ月間にわたり、若園にあった旅館に宿泊しながら植生状況を調べました。その範囲は、静内の御園から新冠の滑若（現在の泉）のずっと奥の方までの広い範囲に至ります。人夫さんを5人くらい連れて、牧場内の地区ごとにどのような植物があるのかを詳しくメモしてまわりました。先生は、草花や樹木など、約200種類くらいの植物を全て調べてくれました。その植生状況によって計画を立て、植物があまりな

いところには馬を放牧しないようにしました。立派な草がある箇所には放牧するようにするなど、柵を作って馬を育てるようにしたのであります。

館脇先生が教えてくれたことで印象に残ったのは、ヤエガワカンバという木のことです。この木は、標高800メートルから高い所でもしか生えない。ところが、新冠の緑丘にあるカンバは、250メートルくらいの高さで生きているとても珍しいものでした。「このようなヤエガワカンバは日高管内には見たことがない、だからこれは将来に向けて新冠と日高全体の天然記念木として残しておくように」と、館脇先生に言われました。

私は、この木を残すために朝日小学校へ小さい木を持って行って植えました。普通のシラカバの木もあるけど、もう一方にはヤエガワカンバがあるのであります。



朝日小学校の「朝日の森」には、シラカバやダケカンバなどカンバの木がある。この中には、はたしてヤエガワカンバはあるのだろうか…。

戸籍の窓

7月21日～8月20日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

酒井 伸輔 ♡ 徳本 千葉弥 東 町
三間 敬介 ♡ 南保 友江 東 町

●おくやみ申し上げます

溝尾 セイ子 76歳 節婦町
平田 繁 92歳 本 町
横井 美枝子 94歳 太 陽
澤谷 あきの 99歳 中央町
畑中 與治 99歳 東 町

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

119番のポイント

- （1）火事ですか？救急ですか？の問いに対してははっきり答えてください。
- （2）場所を正確に伝えてください。
※近くの目標となる建物等からの方角や距離を教えてください。
近くに分かる人がいれば電話を代わってもらう方法もあります。
- （3）状況を正確に伝えてください。
- （4）あなたのお名前と電話番号を教えてください。

消防署新冠支署

火災・救急出動状況			（ ） かつこ内は前年同期	
区 分	火災件数	救急件数		
8月	0件（0件）	36件（25件）		
5年1～8月	3件（7件）	237件（231件）		
交通事故発生状況			（ ） かつこ内は前年同期	
区 分	発生件数	死者	傷者	
8月	1件（0件）	0人（0人）	1人（0人）	
5年1～8月	3件（5件）	0人（0人）	3人（8人）	

人のうごき

（8月末現在）

人 口 5,169人 （前月比 - 5人）
男 2,578人 （前月比 - 2人）
女 2,591人 （前月比 - 3人）
世帯 2,821世帯 （前月比 + 1世帯）

